

# ひと・あれ・これ

## 活躍する卒業生を紹介



奈良市立飛鳥中学校 教諭  
1年副担任・卓球部顧問

おおつき りょう  
**大槻 凌さん**

(教育学部  
学校教育教員養成課程  
教科教育専攻 英語教育専修  
2023年3月卒業)

## 経験は宝なり

私は2023年3月に奈良教育大学を卒業し、中学校の頃から夢見ていた英語教員として、同年4月から奈良市内の中学校で働いています。まだまだ新参者ですが、親切な職場の先輩や、人懐こい生徒たちに囲まれながら、楽しく充実した教員生活を過ごしています。

学生時代、私は英語科に所属し、英語の授業法や言語学について学びました。入学して驚いたのは、講義における英語の使用率です。小・中・高と英語を話す授業をほとんど経験してこなかった私にとって、授業の中で英語でコミュニケーションをとるといふ授業は新鮮かつハイレベルだと感じました。しかし、コロナ期間でリモート授業になりながらも、少しずつ英語で自分の言いたいことを話せるようになり、今ではその力が自分の授業の中で生きています。

他にも、大学に入学するまでは「ICT」という言葉も聞いたことがなかった私にとっては、ICTを活用した授業が主流になってきていることは衝撃でした。模擬授業や教育実習を通して、ICTを活用した授業展開をたくさん練習しました。授業準備は大変ですが、生徒たちが退屈しない授業を心がけ、文法事項を教える時は1からスライドを作成したり、Kahoot!などのクイズ形式のサイトを授業に活用しています。今思い返すと、大学時代に講義で学んだことは、気付かぬうちに教員生活で役立っているのだと感じます。

けれども私自身、大学生活は勉強というよりも、自分のやりたいことに時間を注いだという実感があります。大学生活は自由な時間がとても多く、自分のしたいことに挑戦するチャンスでした。私の場合、大学祭実行委員会で委員長を務め、大学祭の成功を目標に仲間と多くの時間を過ごしました。結果的に、そうした活動で得た経験は、面接の際や生徒に自分のことを話す際、必ず役に立ちます。ですから、今の学生の皆さんには、やりたいことに思い切りチャレンジし、色々な経験をしてほしいと思います。

今でも大学時代の委員会のメンバーや専修の同期とは、週末にご飯や遊びに行ったりして良い息抜きになっています。こうした大切な仲間との出会いや、貴重な経験を与えてくれた奈良教育大学に感謝しています。そして、これからも何事にも恐れずチャレンジし、たくさんの経験を積んでいきたいと思っています。



英語科でのレクリエーション



大学祭



卒業式

英語科の仲間達と



大学祭実行委員会の仲間達と



校外学習の様子



職場の先輩との奈良マラソン完走

